受検番号	氏名

2後建一

令和8年度（後期）

2級建築施工管理技術検定

第一次検定問題

令和8年11月8日(日)

〔注意事項〕

1．ページ数は，表紙を入れて**26**ページです。

2．試験時間は，**10時15分から12時45分**です。

3．問題の解答の仕方は，次によってください。

イ．〔No. 1〕から〔No. 4〕までの **4問題**は，**全問題を解答**してください。

ロ．〔No. 5〕から〔No. 14〕までの **10問題**のうちから，**5問題を選択し，解答**してください。

ハ．〔No. 15〕から〔No. 17〕までの **3問題**は，**全問題を解答**してください。

ニ．〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10問題**のうちから，**7問題を選択し，解答**してください。

ホ．〔No. 28〕から〔No. 37〕までの **10問題**は，**全問題を解答**してください。

ヘ．〔No. 38〕から〔No. 42〕までの **5問題**は，**全問題を解答**してください。

ト．〔No. 43〕から〔No. 50〕までの **8問題**のうちから，**6問題を選択し，解答**してください。

4．選択問題は，解答数が**指定数を超えた場合，減点となります。**

5．問題番号〔No. 1〕から〔No. 37〕，〔No. 43〕から〔No. 50〕は，**四肢択一式**です。
正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

6．問題番号〔No. 38〕から〔No. 42〕は，施工管理法の**能力問題**で**五肢択一式**です。
正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

7．解答用紙への記入に当たっては，次によってください。

イ．選んだ番号を解答用紙のマーク例の良い例に従って，〔HB〕の**黒鉛筆**か**黒シャープペンシル**で塗りつぶしてください。ボールペン，サインペン，色鉛筆等では採点されません。

ロ．マークを訂正する場合は，消しゴムできれいに消して訂正してください。

8．解答用紙は，雑書きしたり，汚したり，折り曲げたりしないでください。

9．この問題用紙は，計算等に使用しても差し支えありません。

10．漢字に付した**ふりがな**は補足であり，異なる読み方の場合があります。

11．この問題用紙は，第一次検定の試験終了時刻まで在席した場合に限り，持ち帰りを認めます。
途中退席する場合は，持ち帰りできません。

※ **問題番号**〔No. 1〕から〔No. 4〕までの**4問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 1〕 日照及び日射に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

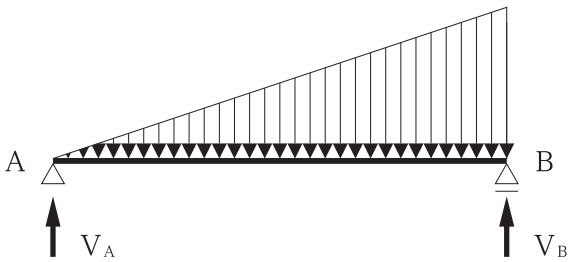
1. 冬至の日に終日日影となる部分は，永久日影となる。
2. 北緯35°付近における終日快晴の冬至の日の終日日射量は，水平面より南向き鉛直面のほうが大きい。
3. 大気透過率は，水蒸気量等の影響を受けるため，一般に夏季より冬季のほうが高い。
4. 日照時間は，日の出から日没までのうち実際に日の照った時間を表すため，天候によって異なる。

〔No. 2〕 木造在来軸組構法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 圧縮力を負担する木材の筋かいは，原則として，厚さ3 cm以上で幅9 cm以上とする。
2. 筋かいの端部は，柱と梁その他の横架材との仕口の部分を避けた位置に，釘等の金物で緊結する。
3. 床等の水平構面は，水平荷重を耐力壁や軸組に伝達できるよう水平剛性を十分に高くする。
4. 3階建ての建築物における1階の構造耐力上主要な部分である柱の断面は，原則として，小径13.5 cm以上とする。

※ **問題番号**〔No. 1〕から〔No. 4〕までの**4問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 3〕 図に示す単純梁ABに等変分布荷重が作用したとき，支点Aの垂直反力 V_A 及び支点Bの垂直反力 V_B の大きさの比率として，**正しいもの**はどれか。



1. $V_A : V_B = 1 : 3$
2. $V_A : V_B = 1 : 2$
3. $V_A : V_B = 2 : 1$
4. $V_A : V_B = 3 : 1$

〔No. 4〕 防水材料に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. ケイ酸質系塗布防水材は，コンクリート内部に水溶性成分を浸透させて緻密にし，防水性を発揮する。
2. ウレタンゴム系の塗膜防水材は，塗り重ねることで連続的な膜を形成する。
3. 絶縁用テープは，防水層の末端部に使用し，防水層のずれ落ち，口あき，剥離等の防止に用いる。
4. アスファルトフェルトは，有機天然繊維を主原料とした原紙にアスファルトを浸透させたものである。

※ **問題番号**〔No. 5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。
5 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 5〕 冬季の暖房時の結露に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 外壁の室内側の表面結露を防止するためには，室内側の表面温度を露点温度以下に保つようにする。
2. 外壁の室内側の表面結露を防止するためには，外壁に熱貫流率の低い材料を用いることが有効となる。
3. 外壁の出隅部分においては，室内側に表面結露が発生しやすい。
4. 外壁の内部結露を防止するためには，防湿層を断熱材より室内側に設けることが有効となる。

〔No. 6〕 色に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 印刷物や塗料等の色料の三原色を同量で混色すると，黒に近い色になる。
2. 同じ色でもその面積が大きいほど，一般に明度や彩度が高く見える。
3. 2 つの有彩色を混ぜて灰色になるとき，その 2 色は互いに補色の関係にある。
4. 無彩色とは，色みを表す色相や明るさを表す明度をもたない色をいう。

〔No. 7〕 鉄筋コンクリート構造に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. フラットスラブ構造は，腰壁が梁の役割を兼ねる構造である。
2. シェル構造は，薄く湾曲した版を用いた構造で，大きな空間をつくることができる。
3. プレストレストコンクリート構造は，PC 鋼材を用いて梁等のコンクリート部材に圧縮力を導入した構造である。
4. 純ラーメン構造は，柱と梁のみで構成された骨組みで地震力等の水平力に抵抗する構造である。

※ **問題番号**〔No. 5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し**，**解答**してください。
5 問題を超えて解答した場合，**減点となります。**
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 8〕 鉄骨構造の接合に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 高力ボルト接合の形式には，摩擦接合，引張接合，支圧接合等があり，このうち摩擦接合が多く用いられる。
2. 部分溶込み溶接は，母材断面の一部だけ開先を設けて溶け込ませる溶接である。
3. 完全溶込み溶接の有効のど厚は，接合される母材の板厚が異なる場合，厚い方の板厚とする。
4. 隅肉溶接は，開先を設けず母材どうしを接合する三角形状の断面の溶接部をもつ溶接である。

〔No. 9〕 地盤及び基礎構造に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

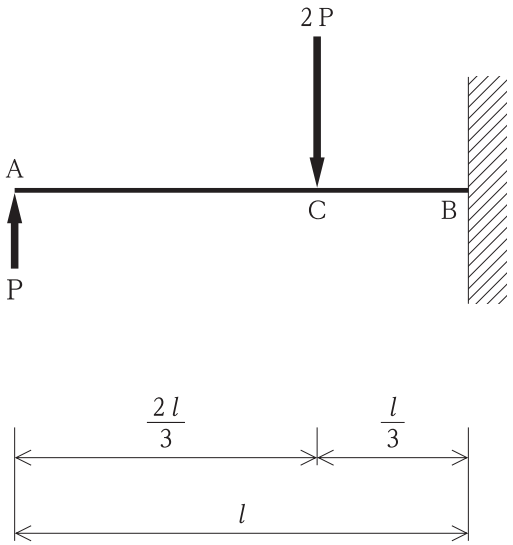
1. 建築物の荷重による地盤沈下には，即時沈下や圧密沈下等がある。
2. 洪積層は，沖積層に比べ，建築物の支持地盤として適している。
3. 同一建築物に杭基礎と直接基礎等，異種の基礎を併用すると，不同沈下を生じやすい。
4. べた基礎は，フーチング基礎と比べ，地盤との接地圧が大きくなる。

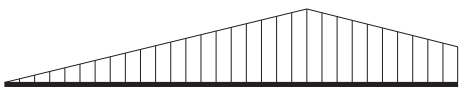
〔No. 10〕 長方形断面を有する部材の応力度の算定とそれに用いる変数の組合せとして，**最も不適当なもの**はどれか。

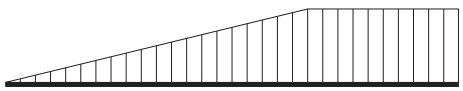
1. 梁のせん断応力度の算定 ――― 梁幅
2. 縁応力度の算定 ――― 断面係数
3. 引張応力度の算定 ――― 断面二次半径
4. 座屈応力度の算定 ――― 細長比

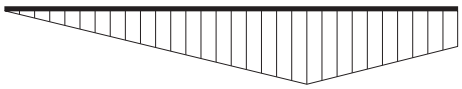
※ **問題番号**〔No. 5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。
5 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

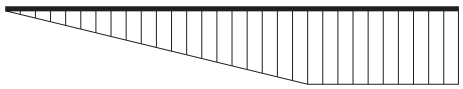
〔No. 11〕 図に示す片持梁 AB において，点Aに集中荷重 P，点Cに集中荷重 2 P がそれぞれ作用したときの曲げモーメント図として，**正しいもの**はどれか。
ただし，曲げモーメントは，材の引張側に描くものとする。



1.


2.


3.


4.


※ **問題番号**〔No. 5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。
5 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 12〕 コンクリートに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 単位水量が多いコンクリートは，乾燥収縮が小さい。
2. コンクリートの中性化は，大気中の二酸化炭素やその他の酸性物質の浸透によって徐々に進行する。
3. コンクリートの引張強度は，圧縮強度に比べ，極めて小さい。
4. AE 剤を用いたコンクリートは，凍結融解作用に対する抵抗性が増す。

〔No. 13〕 木材の一般的な性質に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 強度は，含水率が同じ場合，密度の高いものほど高い。
2. 辺材部分は，心材部分に比べ，乾燥による収縮が小さい。
3. 針葉樹は，広葉樹に比べ，軽量で加工がしやすい。
4. 広葉樹は，針葉樹に比べ，木肌に美しい模様を持つものが多い。

〔No. 14〕 木製建具に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 框戸は，四周を框で組み，鏡板をはめ込んだものである。
2. 格子戸は，縦框の間に羽板を取り付けたものである。
3. フラッシュ戸は，框の中に骨組みを入れ，両面に合板等を張ったものである。
4. 戸ぶすまは，フラッシュ戸の片面をふすまと同様に仕上げたものである。

※ **問題番号**〔No. 15〕から〔No. 17〕までの**3問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 15〕 距離測量における補正に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 鋼製巻尺を用いた測量において，測定地点に高低差があったため，傾斜による補正を行った。
2. 鋼製巻尺を用いた測量において，真夏日であったため，温度による補正を行った。
3. 光波測距儀を用いた測量において，使用する器械の固有の誤差を考慮して，器械定数の補正を行った。
4. 光波測距儀を用いた測量において，反射プリズムの中心と反射位置のずれを考慮して，尺定数の補正を行った。

〔No. 16〕 防災設備に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 傾斜路に設ける通路誘導灯は，避難上必要な床面照度の確保と避難の方向の確認を主な目的とする避難設備である。
2. 非常警報設備の非常ベルは，火災発生時に煙又は熱を感知し，自動的にベルが鳴る警報設備である。
3. 定温式スポット型感知器は，湯沸室や厨房等の急激な温度上昇が生ずる場所に適している。
4. 光電式分離型煙感知器は，天井が高い場合や吹抜けモール部分等の場所に適している。

〔No. 17〕 建築設備に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. バキュームブレーカーは，給水管内で負圧が発生した際，空気を取り込むことで逆流を防ぐ装置である。
2. グリーストラップは，排水系統中に設置し，管内に発生する下水ガスや害虫の侵入を封水により防ぐ装置である。
3. ストレーナは，水や蒸気等の流体に含まれる異物を除去するためのろ過装置である。
4. マイコンメーターは，コンピュータを内蔵した安全機能付きのガスメーターである。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。
7 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 18〕 山留め工法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 親杭横矢板壁は，遮水性がなく，地下水位の高い地盤では地下水処理を併用する必要がある。
2. 鋼矢板壁は，止水壁として軟弱地盤や地下水位の高い地盤に用いられる。
3. トレンチカット工法は，根切り工事の範囲が狭い場合に適している。
4. 控えアンカー工法は，山留め壁頭部の変形を抑制したい場合に有効である。

〔No. 19〕 鉄筋の加工及び組立てに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 帯筋とあばら筋は，鉄筋の種類と径が同じであったため，折り曲げる際の内法直径を同じとした。
2. 鉄筋相互のあきは，鉄筋の強度により定められた最小寸法を確保した。
3. ガス圧接継手部の鉄筋の切断は，切断面の平滑さや直角度に配慮し，鉄筋冷間直角切断機によって行った。
4. 床開口部補強のための斜め筋は，床配筋の上筋と下筋の内側に配筋した。

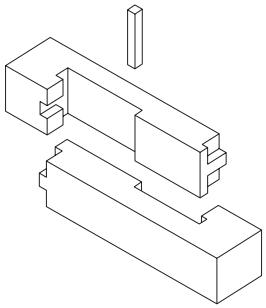
〔No. 20〕 コンクリートの養生に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 普通ポルトランドセメントを用いた場合，打込み後 5 日間はコンクリート温度を 2 ℃ 以上に保たなければならない。
2. 打込み後，少なくとも 1 日間はそのコンクリートに振動や衝撃を与えないようにしなければならない。
3. 寒中コンクリート工事において，コンクリート温度の低下を防ぐため，加熱養生期間中は湿潤養生を行わないようにする。
4. 早強ポルトランドセメントを用いた場合，普通ポルトランドセメントを用いた場合よりも湿潤養生期間を短くすることができる。

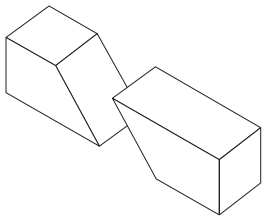
※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。
7 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 21〕 木造在来軸組構法の木工事における継手の名称と納まり図の組合せとして，**誤っているもの**はどれか。

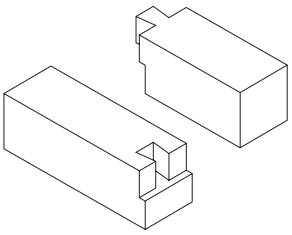
1. 金輪継ぎ



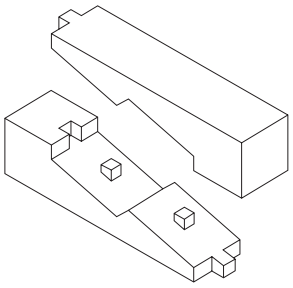
2. そぎ継ぎ



3. 追掛大栓継ぎ



4. 台持継ぎ



※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。
7 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 22〕 鉄筋コンクリート構造の建築物の解体工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 地上作業による解体では，地上から解体用機械で行い，上階から下階へ梁，床，壁，柱の順に解体を進めた。
2. 階上作業による解体では，屋上に揚重した解体用機械で最上階から解体し，発生したコンクリート塊を利用してスロープをつくり，解体用機械を下階に移動させた。
3. 階上作業による解体では，コンクリート塊を地上に落とすための開口を，あらかじめ各階の床に設けた。
4. 外周部の転倒解体では，最初に柱脚部の柱主筋をすべて切断し，次に壁下部の水平方向，壁及び梁端部の垂直方向の縁切りを行った後に転倒させた。

〔No. 23〕 アスファルト防水工事における屋根保護防水密着断熱工法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. ルーフィング類は，継目の位置が上下層で同一箇所にならないようにし，水下側から張り付けた。
2. 平場部のストレッチルーフィングは，ルーフィングの両端からアスファルトがはみ出さないように流し張りをした。
3. 保護コンクリートの動きによる防水層の損傷を防止するため，成形緩衝材を立上り部の入隅に取り付けた。
4. 断熱材を張り付けた後に絶縁用シートを敷き込み，その上に保護コンクリートを打ち込んだ。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。
7 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 24〕 花崗岩の表面仕上げに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. びしゃん仕上げは，砂粒や鋼鉄の粒子を圧縮空気によって石材表面にたたきつけ，粗面を作る仕上げである。
2. 本磨き仕上げは，平滑でつやがあり，床に用いられることもあるが，滑りやすい。
3. ジェットバーナー仕上げは，石材表面をバーナーで加熱した後に水で急冷する仕上げである。
4. 磨き仕上げにおける目地の合端には，原則として，糸面を付ける。

〔No. 25〕 金属の表面仕上げに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. アルミニウム材において，陽極酸化皮膜の生成と同時に発色させた仕上げを自然発色皮膜という。
2. アルミニウム材において，陽極酸化処理の後，塗装を施した仕上げを陽極酸化塗装複合皮膜という。
3. ステンレス材において，研磨材で表面に長く連続した磨き目がつくように研磨した仕上げを BA という。
4. ステンレス材において，化学処理により図柄や模様を施した仕上げをエッチングという。

〔No. 26〕 カーペット敷きに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. タイルカーペットは，粘着剥離形の接着剤を用いて張り付けた。
2. タイルカーペットの平場部の張付けは，市松張りとし，パイル目の方向を揃えた。
3. ウィルトンカーペットの接合部は，手縫いによるつづり縫いとした。
4. ウィルトンカーペットの裁断部は，切口に接着剤を塗り，ほつれ止めを行った。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。
7 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 27〕 カーテン工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. カーテンレールに取り付けるランナーの数は，1 m 当たり 4 個とした。
2. カーテンの両脇及びすその縁加工は，伏縫いとした。
3. 引分け遮光用カーテンは，中央召合せを 300 mm とした。
4. 引分けカーテンでカーテンレールが 1 本の場合，召合せを確保するため，交差ランナーを使用した。

※ **問題番号**〔No. 28〕から〔No. 37〕までの **10 問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 28〕 事前調査に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 山留め工事の計画に当たって，設計時の地盤調査が不十分であったため，ボーリング調査を追加して行うこととした。
2. 建設発生土の場外搬出処分の計画に当たって，受入地の所在する自治体に，土壌分析結果の添付を定めた条例があるか確認することとした。
3. 鉄骨工事の計画に当たって，製作工場から現場までの搬入経路を確認することとした。
4. 鉄骨の建方の計画に当たって，日影による近隣への影響の調査を行うこととした。

〔No. 29〕 仮設計画に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 仮囲いには，合板パネル等の木製材料を使用することとした。
2. 工事用ゲートを複数設置するため，守衛所をメインのゲート脇に設置し，その他は警備員だけを配置することとした。
3. 工事用ゲートには，車両の入退場を知らせる標示灯を設置し，周辺生活環境に配慮してブザーは設置しないこととした。
4. 鋼板製仮囲いの下端には，雨水が流れ出やすいように隙間を設けることとした。

〔No. 30〕 建築工事に係る届出に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 仮設のゴンドラを設置するときは，ゴンドラ設置届を労働基準監督署長に提出する。
2. 常時 10 人の労働者が就業する事業で附属寄宿舎を設置するときは，寄宿舎設置届を市町村長に提出する。
3. 道路上に高所作業車を駐車して作業するときは，道路使用許可申請書を所轄警察署長に提出する。
4. 下請負人を含む常時 15 人の労働者の作業が同一の場所で行われるときは，特定元方事業者事業開始報告を労働基準監督署長に提出する。

※ **問題番号**〔No. 28〕から〔No. 37〕までの **10 問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 31〕 工程計画の検討に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 外構工事の工程計画では，工事期間確保のため，本体工事と並行して施工ができるよう検討する。
2. 型枠工事の工程計画では，型枠存置期間を考慮して，せき板や支保工の転用を検討する。
3. 工程計画上のマイルストーン（管理日）は，工程上の重要な区切りを避けて設定する。
4. 工程計画に当たっては，工事を行う地域の労務，資材，機材等の調達状況を考慮する。

〔No. 32〕 バーチャート工程表に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 各作業の所要日数や施工日程が把握しやすい。
2. 各作業の全体工期に与える影響度が把握しやすい。
3. 作業間調整に伴う修正がしにくい。
4. 工程表に示す作業を細分化しすぎると，作業間の関係が把握しにくい。

〔No. 33〕 工事現場における試験に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 油圧式簡易引張試験器を用いて，外壁タイル張り後のタイル接着力の測定を行った。
2. リバウンドハンマー（シュミットハンマー）を用いて，既存コンクリート構造物の圧縮強度の推定を行った。
3. クラックスケールを用いて，構造体コンクリートのひび割れの幅の測定を行った。
4. ダイヤルゲージを用いて，硬質ウレタンフォーム断熱材の吹付け厚さの測定を行った。

※ **問題番号**〔No．28〕から〔No．37〕までの**10問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．34〕 コンクリートの品質管理のための試験に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. スランプは，スランプコーンを引き上げた後のコンクリートの中央部における下がり量を測定値とした。
2. スランプフローは，スランプコーンを引き上げた後のコンクリートの広がりが最大と思われる直径の値を測定値とした。
3. 1回の圧縮強度試験は，コンクリート打込み日ごと，打込み工区ごと，かつ，150 m^3 以下にほぼ均等に分割した単位ごとに行った。
4. 圧縮強度試験に用いる供試体は，粗骨材の最大寸法が20 mmであったため，直径が100 mmで高さが200 mmの円柱形とした。

〔No．35〕 鉄筋工事及び鉄骨工事の検査に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 鉄筋のガス圧接継手部の外観検査は，全数行った。
2. 鉄筋のガス圧接継手部の超音波探傷試験による検査は，抜き取りで行った。
3. 鉄骨溶接部のブローホールの検査は，目視で行った。
4. 鉄骨溶接部の表面割れの検査は，浸透探傷試験により行った。

〔No．36〕 工事現場における建設業に属する事業の特定元方事業者が講ずべき措置に関する記述として，「労働安全衛生法」上，**定められていないもの**はどれか。

1. 足場の組立て作業において，作業の方法及び労働者の配置を決定し，作業の進行状況を監視すること。
2. 関係請負人が行う安全教育に対して，安全教育に使用する資料を提供すること。
3. クレーン等の運転についての合図を統一的に定め，これを関係請負人に周知させること。
4. 機械等が転倒するおそれがある場所において関係請負人の労働者が作業を行うとき，その関係請負人に対する技術上の指導を行うこと。

※ **問題番号**〔No．28〕から〔No．37〕までの **10 問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No．37〕 工事現場の安全管理に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 足場からの墜落防止のため，枠組足場に交さ筋かい及び高さ 15 cm の幅木を設けた。
2. 工事現場からの飛来落下物による危害防止のため，足場の外側面に工事用シートを設けた。
3. 作業時の踏み抜き防止のため，スレートで葺かれた屋根の上に設ける歩み板の幅を 25 cm とした。
4. やむを得ず架空電路に近接して鋼管足場を設けるため，架空電路に絶縁用防護具を装着した。

※ **問題番号**〔No. 38〕から〔No. 42〕までの**5問題は能力問題**です。**全問題を解答**してください。
問題は**五肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 38〕 型枠の支保工に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 上下階の支柱は，できるだけ平面上の同一位置になるように設置した。
2. 階段の斜めスラブ部分の支柱は，脚部にキャンバーを用い，斜めスラブに対して直角に建て込んだ。
3. 支柱に使用したパイプサポートは，3本継ぎを限度とした。
4. 鋼管枠を支柱に使用した支保工は，最上層及び5層以内ごとに水平つなぎを設けた。
5. 鋼管枠を支柱に使用した支保工は，荷重は建枠の脚柱部で直接受け，横架材で受けないようにした。

〔No. 39〕 鉄骨の加工及び組立てに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 開先の加工は，自動ガス切断，機械加工等により行う。
2. 高力ボルト用の孔あけ加工は，板厚が13 mm以下の場合，せん断孔あけとすることができる。
3. 曲げ加工を常温で行う場合は，プレス，ベンダー，ローラー等を用いて鋼材に力を加え変形させて曲げる。
4. 組立て治具は，部材の組立ての際，部材相互等の位置を正確に保つために用いられる。
5. 400 N/mm^2 級鋼材のひずみを矯正するに当たり，加熱後空冷する場合の局部加熱温度は850 ℃から900 ℃の範囲とする。

〔No. 40〕 建具工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 木製フラッシュ戸の中骨は，杉のむく材を使用した。
2. 樹脂製建具は，建具の加工及び組立てからガラスの組込みまでを建具製作所で行った。
3. アルミニウム製建具の組立てに使用する小ねじは，亜鉛めっき処理した鋼製のものを使用した。
4. 外部に面する鋼製建具のステンレス製くつずりは，両端を縦枠より延ばし，縦枠の裏面で溶接した。
5. 鋼製両面フラッシュ戸の表面板と中骨の固定は，構造用接合テープを用いて接合した。

※ **問題番号**〔No. 38〕から〔No. 42〕までの**5問題は能力問題**です。**全問題を解答**してください。
問題は**五肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 41〕 塗装工事における素地ごしらえに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 亜鉛めっき鋼面の付着物の除去には，ワイヤーブラシを用いた。
2. 鉄鋼面に付着した油類の除去には，石油系溶剤を用いた。
3. 外壁モルタル面のパテかいには，建築用下地調整塗材を用いた。
4. けい酸カルシウム板面の吸込み止めは，穴埋めやパテかいの後に塗布した。
5. 不透明塗料塗りとなる木部の節止めは，パテを充填する前に行った。

〔No. 42〕 工事現場の安全管理に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. TBM（ツール ボックス ミーティング）とは，職長や現場監督等を中心に，作業開始前の短時間で，当日の安全作業について話し合う活動である。
2. ゼロエミッションとは，人間尊重の理念に基づき，労働災害や疾病をゼロにすることを目指し，全員で安全と健康を先取りしようとする運動である。
3. 安全施工サイクルとは，施工の安全を図るため，毎日，毎週，毎月の基本的な実施事項を定型化し，継続的に実施する活動である。
4. KY（危険予知）活動とは，作業に伴う危険性又は有害性に対し，作業グループが正しい行動を互いに確認し合う活動である。
5. リスクアセスメントとは，労働災害の要因となる危険性又は有害性を洗い出してリスクを見積もり，優先順位を定め，リスクの低減措置を検討することである。

※ **問題番号**〔No. 43〕から〔No. 50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し**，**解答**してください。
6問題を超えて解答した場合，**減点となります。**
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 43〕 用語の定義に関する記述として，「建築基準法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 学校の用途に供する建築物は，特殊建築物である。
2. 住宅の浴室は，居室ではない。
3. 建築物に設ける昇降機は，建築設備である。
4. 地下駐車場に設ける倉庫は，建築物ではない。

〔No. 44〕 採光及び換気に関する記述として，「建築基準法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 換気設備を設けるべき調理室等に設ける給気口は，原則として，天井の高さの $\frac{1}{2}$ 以下の位置に設けなければならない。
2. 換気設備のない居室には，原則として，換気に有効な部分の面積がその居室の床面積の $\frac{1}{20}$ 以上の換気のための窓その他の開口部を設けなければならない。
3. 平屋建ての有料老人ホームの入所者用談話室には，採光のための窓その他の開口部を設けなくてもよい。
4. 温湿度調整を必要とする作業を行う作業室には，採光のための窓その他の開口部を設けなくてもよい。

〔No. 45〕 建設業の許可に関する記述として，「建設業法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 建築工事業で一般建設業の許可を受けている者が，建築工事業で特定建設業の許可を受けた場合，一般建設業の許可は効力を失う。
2. 建築工事業で特定建設業の許可を受けている者は，土木工事業で一般建設業の許可を受けることができる。
3. 建設業を営もうとするすべての者は，建設業の許可を受けなければならない。
4. 建設業者は，許可を受けた建設業に係る建設工事を請け負う場合においては，当該建設工事に附帯する他の建設業に係る建設工事を請け負うことができる。

※ **問題番号**〔No. 43〕から〔No. 50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し**，**解答**してください。
6問題を超えて解答した場合，**減点となります。**
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 46〕 建設工事の請負契約書に記載しなければならない事項として，「建設業法」上，**定められていないもの**はどれか。

1. 工事の完成又は出来形部分に対する下請代金の支払の時期及び方法並びに引渡しの時期
2. 当事者の一方から設計変更の申出があった場合における工期の変更，請負代金の額の変更又は損害の負担及びそれらの額の算定方法に関する定め
3. 価格等の変動又は変更に基づく工事内容の変更又は請負代金の額の変更及びその額の算定方法に関する定め
4. 工事を施工しない日又は時間帯の定めをするときは，その内容

〔No. 47〕 未成年者及び女性の労働条件に関する記述として，「労働基準法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 未成年者は，独立して賃金を請求することができる。
2. 親権者又は後見人は，未成年者に代って労働契約を締結することができる。
3. 使用者は，満18歳の女性を，20kg以上の重量物を継続的に取り扱う業務に就かせてはならない。
4. 使用者は，原則として，産後8週間を経過しない女性を就業させてはならない。

〔No. 48〕 建設工事の現場において，事業者が講ずべき労働者の就業に当たっての措置に関する記述として，「労働安全衛生法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 作業内容を変更した労働者に対して，その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行なわなければならない。
2. 現場の事務所に事務職として雇い入れた労働者に対して，その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行なわなければならない。
3. 新たに職務に就くことになった職長に対して，原則として，労働者に対する指導又は監督の方法に関する安全又は衛生のための教育を行なわなければならない。
4. 新たに選任した作業主任者に対して，作業方法の決定及び労働者の配置に関する安全又は衛生のための教育を行なわなければならない。

※　**問題番号**〔No．43〕から〔No．50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し**，**解答**してください。
6問題を超えて解答した場合，**減点となります。**
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．49〕　建設業に係る廃棄物に関する記述として，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 工作物の除去に伴って生じた壁紙くずは，産業廃棄物である。
2. 工作物の除去に伴って生じたゴムくずは，産業廃棄物である。
3. 工作物の新築に伴って生じた抜根材及び伐採材は，産業廃棄物である。
4. 工作物の新築に伴って生じた土砂は，産業廃棄物である。

〔No．50〕　消防用設備等の種類に関する記述として，「消防法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 連結散水設備は，消火設備である。
2. 漏電火災警報器は，警報設備である。
3. 防火水槽は，消防用水である。
4. 救助袋は，避難設備である。